

# 高美小学校内 TM だより

R8.2.5.NO.30

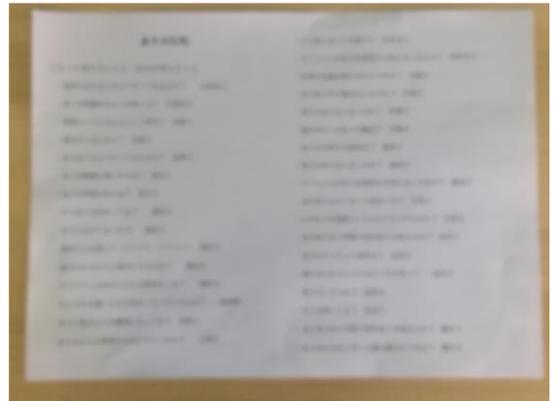
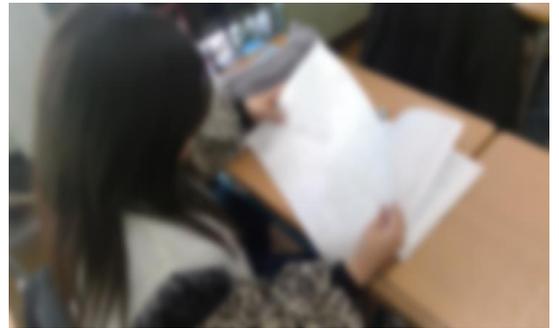
3年1組の国語「ありの行列」の授業におじゃましました。

## ★交流する目的★

単元の最後、全体で感想を交流する時間でした。席の近い人との交流はすでに済んでいるようで、前時のふりかえりには、「明日みんなと交流するのがたのしみ」「みんなはどんな疑問をみつけたのかな」といったような、本時を楽しみにしていることが伝わる内容が多く書かれていました。交流を始める前に羽倉先生は、「今日の交流はなんのためにするの?」と子どもたちに問いかけておられました。「みんなの考えを知るため」「自分の考えを広げるため」子どもたちは次々と発言していました。それらをすべて認めたくて「今日は、みんなの感想の中にあつた疑問をもとにグループわけをするよ」と確認しておられました。本単元で、ありについてもつた疑問をもとに、次の単元に向けてグループ分けをし、調べ学習、発表会をするそうです。感想を交流する目的がはっきりしたので、友だちの考えを聞く姿勢もいつも以上に前向きに感じられました。

## ★はてな集★

交流する前に、子どもたちの疑問をまとめたもの、「はてな集」を配っておられました。誰がどんな疑問をもっているのか、一目でわかるようになっていたので、子どもたちは「自分と似ている疑問をもっている人はいるかな?」とじっくり読みながら、交流することができました。交流しながら、次の単元に向けてグループ分けを行いました。「グループどうやって分ける?」と声をかけた後、先生は司会役に徹し、子どもたちが自分でグループ分けを行っていました。「あり」についての疑問の中でも「巣の中」と「行列」で分けられそう」といったように、全員の疑問をみんなで整理していました。同じことに興味をもっている子が集まってグループを組むことになり、後の調べ学習も盛り上がりそうだなと感じました。



～まとめ～

何のために学習するのかを意識させることが、自ら学びに向かう姿勢につながるということは、高美小学校の授業づくりではすっかりおなじみになってきました。単元によってはゲームにつなげたり、発表会につなげたりすることができますが、今回のように、次の単元と結びつけることも大切だなと改めて感じました。時には教科横断的に結びつけることで、すべての学習に対して、自ら学びに向かう力がつくのではないかと思います。羽倉先生、3年1組のみなさん、ありがとうございました。